



東浦中学校・東浦文化広場基本計画策定

## 検討委員会資料

令和8年5月7日

# 1. 東浦中学校・東浦文化広場における現状と課題

## I. 周辺状況

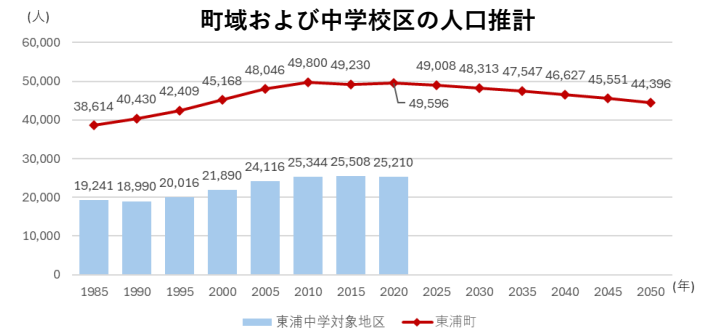
- ・計画対象地となる東浦文化広場は、町域の中心部から南に約1.0kmに位置し、東浦中学校区においては、ほぼ中央に位置する。
- ・現在の東浦中学校は、校区の北端に位置しているが、中学校移築により校区内でも中央に位置することとなる。
- ・東浦中学校区には、石浜西小学校、片葩小学校、生路小学校、藤江小学校の4小学校が立地している。



## II. 人口動態

### ①町域における人口動態

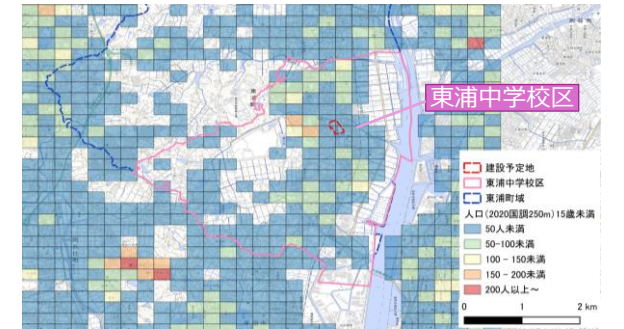
- ・東浦町の人口推移をみると2015年に1度減少に転じているが、2020年まで増加傾向。2020年以降は減少傾向となる。
- ・東浦中学校対象地区の人口推移では、1995年から2015年まで増加が続き、2015年から緩やかに減少。



出典：2020年以前国勢調査、2025以降 社人研人口推計（R5推計値）

### ②校区内の人口分布

- ・東浦中学校区における15歳未満（2020年）の人口分布をみると、対象地周辺に150人以上が居住するエリアが点在する。
- ・2030年以降は殆どの地区で50人未満となり、15歳未満の人口の減少が顕著となる。



中学校区内の人口分布（15歳未満）2020年

出典：国土数値情報（2020国勢調査数値より）

### ③地区別の将来人口推計

- ・東浦中学校区となる石浜地区、生路地区、藤江地区の将来人口推計をみると、40年後（2062年）には石浜地区で-12.8%、生路地区で-16.1%、藤江地区で-20.5%減少。
- ・人口種別でみると、年少人口、生産人口は3地区とも減少し続ける。一方で老年人口は、20年~30年ぐらいは増加が続く。

地区別人口推計	0	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000	12,000	14,000							
森岡地区	2022 1,131	4,686	2,278	8,095	年少人口	2027 1,047	4,673	2,186	7,906	生産年齢人口	2032 1,109	4,884	2,200	8,193	老年人口
石浜地区	2022 1,131	4,686	2,278	8,095	2027 1,047	4,673	2,186	7,906	2032 1,109	4,884	2,200	8,193	-11.6%		
生路地区	2022 1,131	4,686	2,278	8,095	2027 1,047	4,673	2,186	7,906	2032 1,109	4,884	2,200	8,193	-20.6%		
藤江地区	2022 1,131	4,686	2,278	8,095	2027 1,047	4,673	2,186	7,906	2032 1,109	4,884	2,200	8,193	-18.1%		
東浦中学校区	2022 1,131	4,686	2,278	8,095	2027 1,047	4,673	2,186	7,906	2032 1,109	4,884	2,200	8,193	-32.5%		
石浜地区	2022 1,981	7,952	2,971	12,904	2027 1,698	6,231	2,929	12,859	2032 1,501	5,804	3,029	12,734	-12.8%		
生路地区	2022 1,981	7,952	2,971	12,904	2027 1,698	6,231	2,929	12,859	2032 1,501	5,804	3,029	12,734	-16.1%		
藤江地区	2022 1,981	7,952	2,971	12,904	2027 1,698	6,231	2,929	12,859	2032 1,501	5,804	3,029	12,734	-20.5%		

東浦中学校区  
石浜地区  
生路地区  
藤江地区

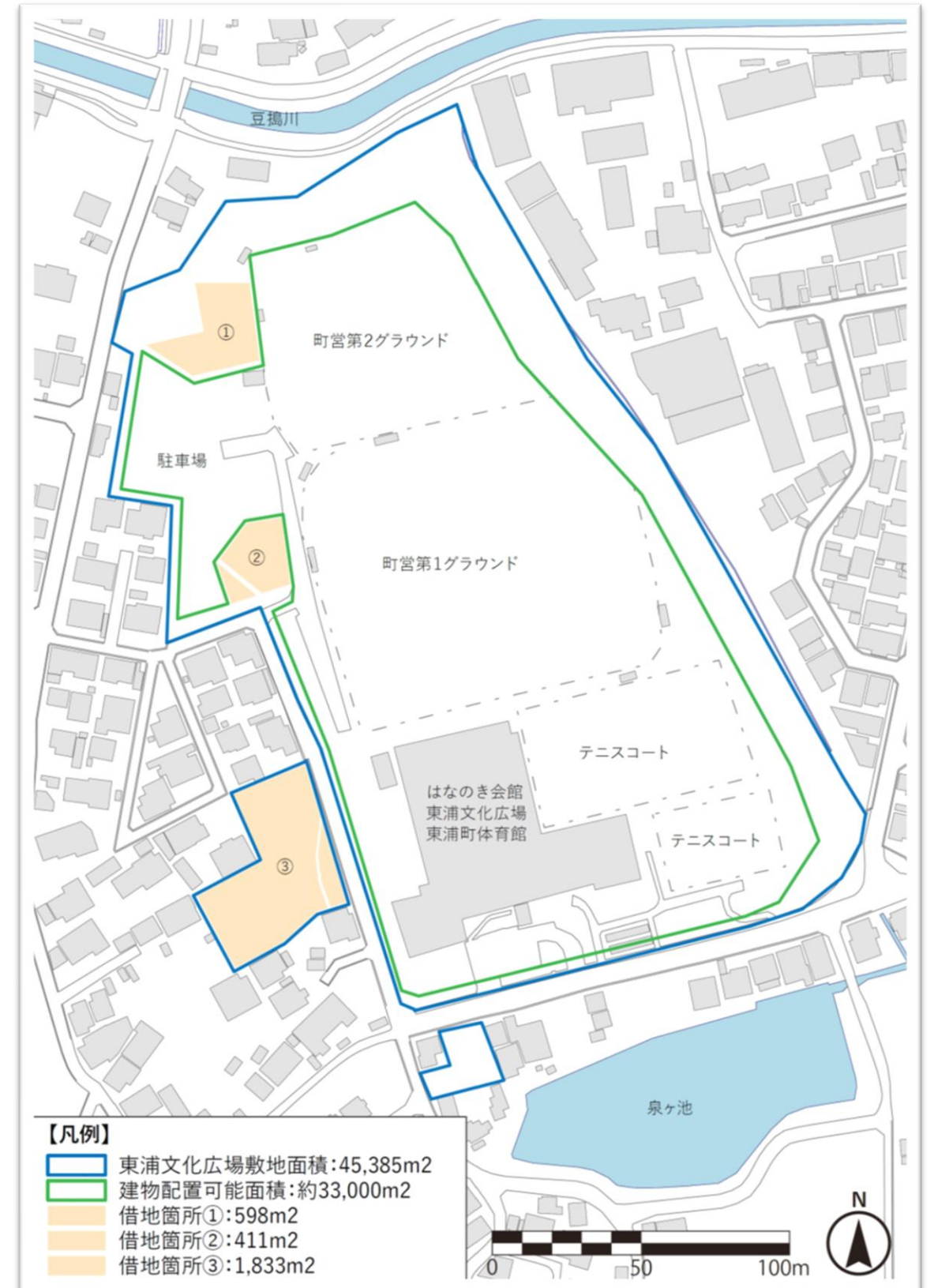
出典：東浦町公共施設再配置計画

# 1. 東浦中学校・東浦文化広場における現状と課題

## Ⅲ. 対象地の状況

### ①東浦文化広場の概要

名称	東浦文化広場 (東浦町体育館 (メディアス体育館ひがしうら)、はなのき会館)		
所在地	〒470-2104 愛知県知多郡東浦町大字生路字狭間 80		
敷地面積	東浦文化広場：45,385 m <sup>2</sup> (東浦中学校・東浦文化広場基本構想 2025 年 7 月策定より)		
建築面積	東浦文化広場： 3,091.990 m <sup>2</sup> (定期検査報告概要書より)		
延床面積	東浦文化広場： 3,325.02 m <sup>2</sup> 東浦町体育館： 2,871.99 m <sup>2</sup> はなのき会館： 453.03 m <sup>2</sup> (東浦中学校・東浦文化広場基本構想 2025 年 7 月策定より)		
構造	RC 造		
建築年	1983 (昭和 58) 年 2 月 25 日竣工 (築 43 年)		
都市計画区域	知多都市計画区域		
区域区分	市街化区域		
地域地区	用途地域	第一種住居地域	
	容積率	200%	
	建蔽率	60%	
	高さ制限	なし	
	防火地域・準防火地域	法 22 条区域	
諸室・機能等	東浦町体育館	アリーナ	バレーボール・・・2面 バスケットボール・・・2面 バドミントン インディアカ ニュースポーツ・・・6面
		小体育室	卓球・・・8台 軽体操
		柔剣道場	柔道、剣道
		グラウンド	第1グラウンド (夜間照明あり) 第2グラウンド
		テニスコート	砂入人工芝：5面
	はなのき会館	料理室	オープン付きコンロは3台使用可能+2 口カセットコンロ1台
		研修室	

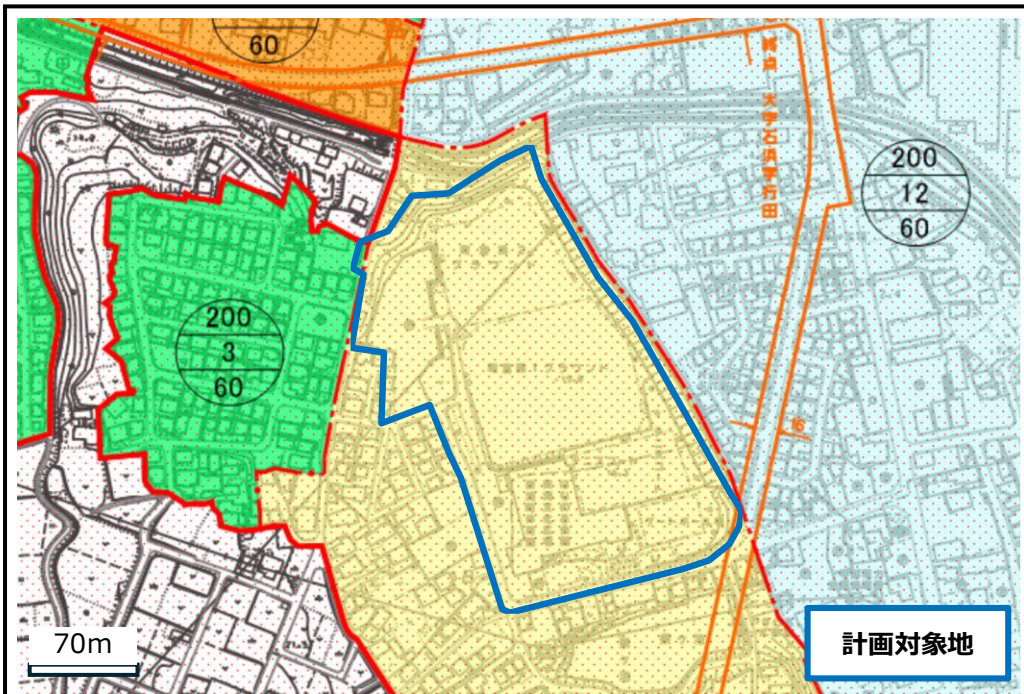


# 1. 東浦中学校・東浦文化広場における現状と課題

## Ⅲ. 対象地の状況

### ②都市計画の状況

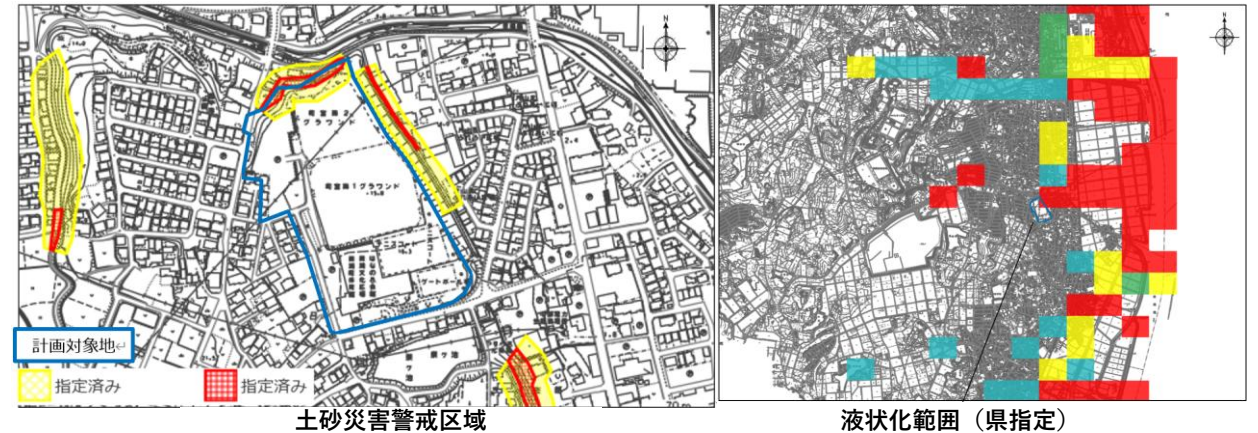
所在地	東浦町生路狭間80
敷地面積	45,385㎡
用途地域	市街化区域（第1種住居地域）
建ぺい率/容積率	60%/200%
立地適正化計画	居住誘導区域（土砂災害警戒区域を除く）
高圧線架空	あり



区域区分	市街化区域	
用途地域	第一種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域
	第一種住居地域	第二種住居地域
	準住居地域	近隣商業地域
	商業地域	準工業地域
	工業地域	工業専用地域
	特別用途地域	特別用途地域
防火・準防火地域	防火地域	準防火地域
	法22条区域	
都市計画道路	都市計画道路	
都市計画公園・緑地・施設	都市計画公園	都市計画緑地
	都市計画施設（供給処理施設）：ごみ焼却場	

### ③防災上の状況

- ・グラウンド北側及び東側を土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定されており、グラウンド東側部分で液状化が極めて高い部分に指定されている。

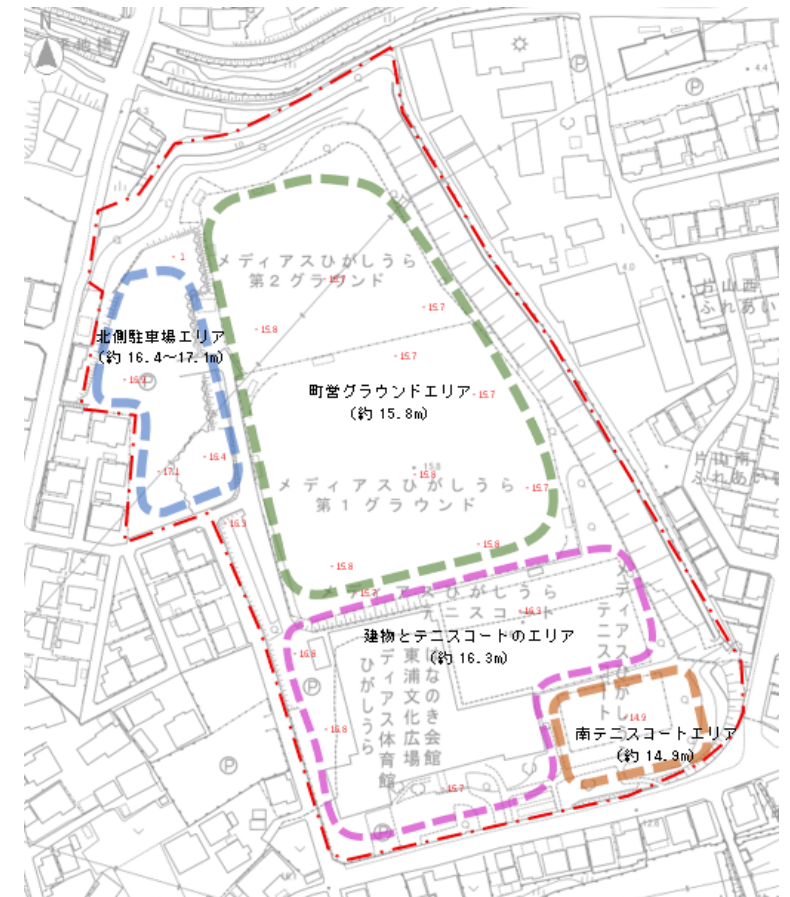


### ④計画対象地の地形等

< 計画対象地内の高さ >

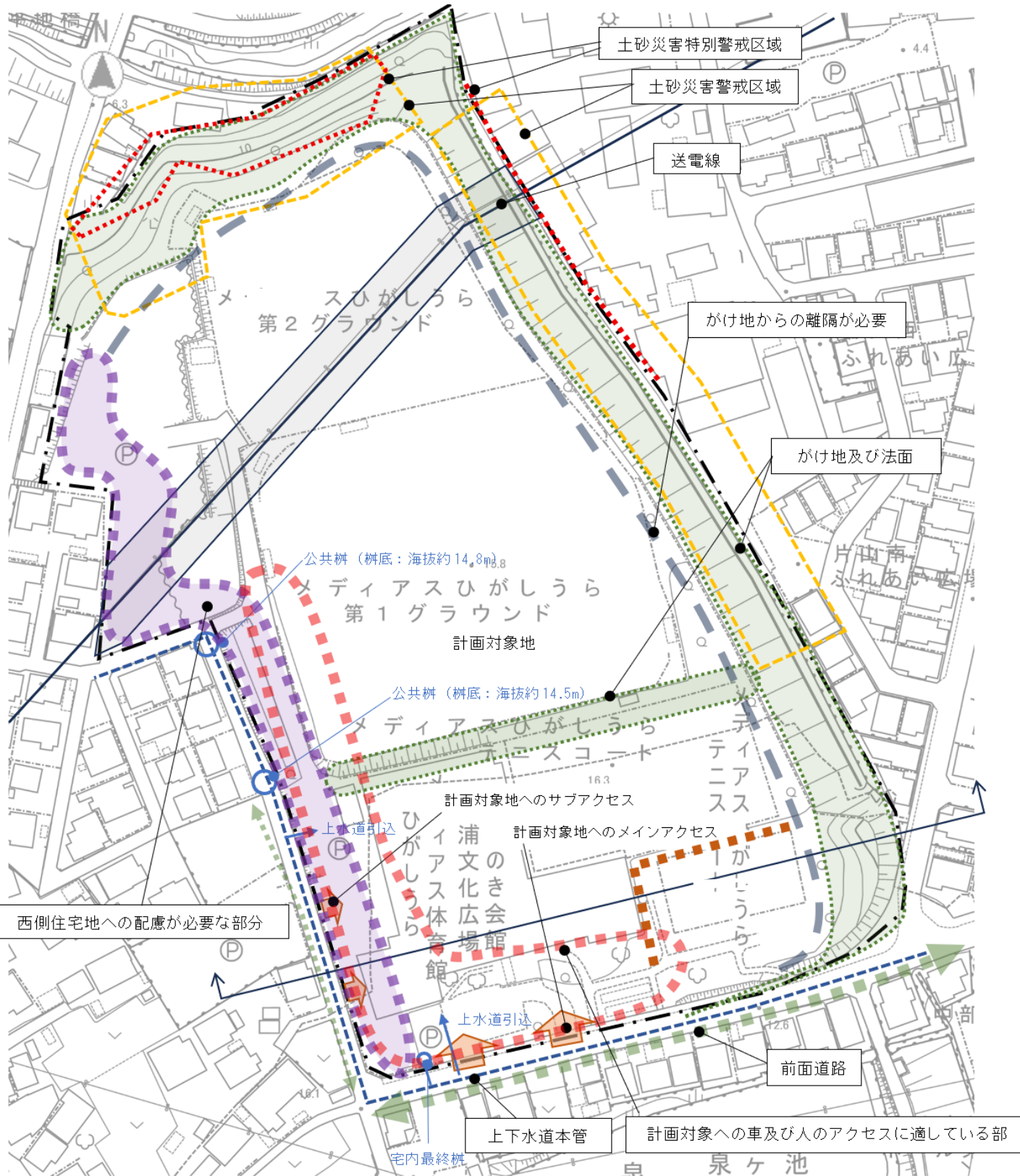
計画対象地内は概ね14.9m（海拔）から海拔16.9mであるが、以下に示す高さの異なる4つのエリアで構成され、エリア境界部分は概ね0.5m～1.5mの高低差が生じている。

- ①南テニスコートエリア：約14.9m（海拔）
- ②建物とテニスコートエリア：約16.3m（海拔）
- ③町営グラウンドエリア：約15.8m（海拔）
- ④北側駐車場エリア：約16.4～約17.1m（海拔）



# 1. 東浦中学校・東浦文化広場における現状と課題

## IV. 敷地条件及び敷地特性のまとめ：施設配置検討における配慮事項



### <がけ地付近の敷地>

計画地北側及び東側は建物および周辺環境へのリスクを避けるため、ある程度がけ地からの隔離を設けた位置での施設配置が必要と考えられる。(愛知県建築基準条例では、基本的には「がけ高さ」の2倍以上の隔離が求められている。

### <送電線>

計画対象地北側を東西に通る送電線周辺部は、建築可能範囲について確認が必要となる。

### <敷地の地形の状況>

敷地内には、高さの異なるいくつかのエリアから構成され、法面などにより高低差を処理している。施設配置検討において、切土量及び盛土量も考慮に入れた検討が必要となると考えられる。また、1m以上の「切土」及び「盛土」を行う場合は、開発許可申請が必要となる。

### <上下水道の敷設状況>

上下水道の本管は、計画対象地南側及び西側の道路内に敷設されている。新規施設計画においても、南側及び西側道路内の本管からの引込及び接続になると考えられる。特に污水排水においては、排水勾配が必要となるため下水本管に污水を流すことができる位置を考慮した上での施設配置検討が必要となると考えられる。

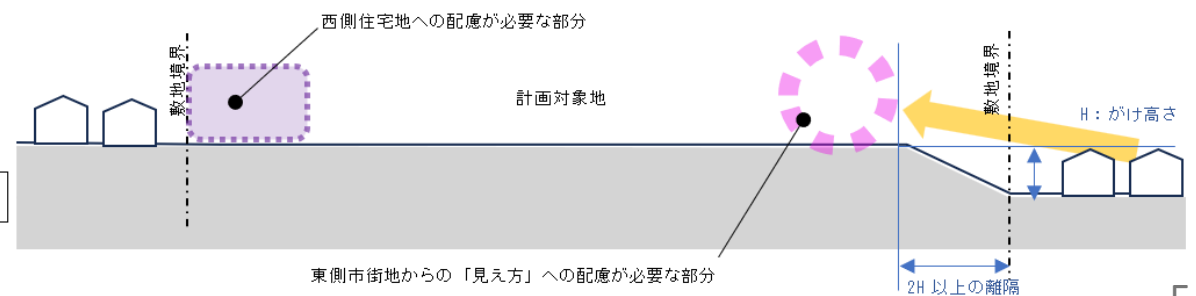
### <計画対象地へのアクセス>

現在の敷地における自動車及び歩行者の主なアクセスは南側及び西側からのアクセスとなっている。ただし西側は住宅街となっていることから、西側道路における車両の通行量を極力少なくすることを考慮した施設配置が必要と考えられる。

### <周辺住宅地への配慮>

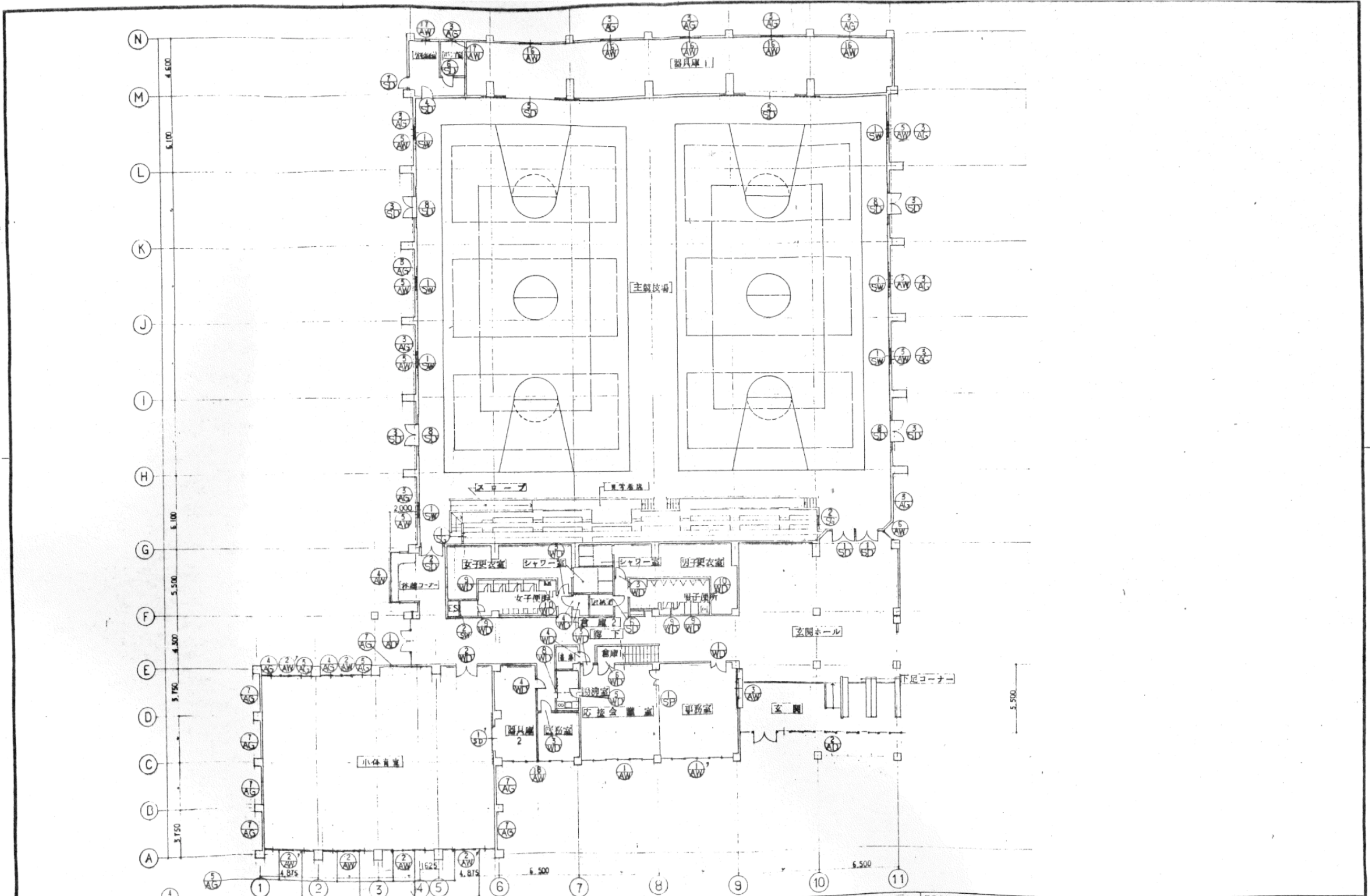
計画対象地西側は住宅地となっているため、住宅地への建物の圧迫感を与えないよう、敷地境界からある程度の隔離をとる位置への施設配置や高さを抑える計画が必要となると考えられる。

また東側は、計画対象地よりも低い位置に市街地が形成されているため、市街地側から計画対象地への「眺め」や「見え方」に配慮した施設配置が必要と考えられる。



# 1. 東浦中学校・東浦文化広場における現状と課題

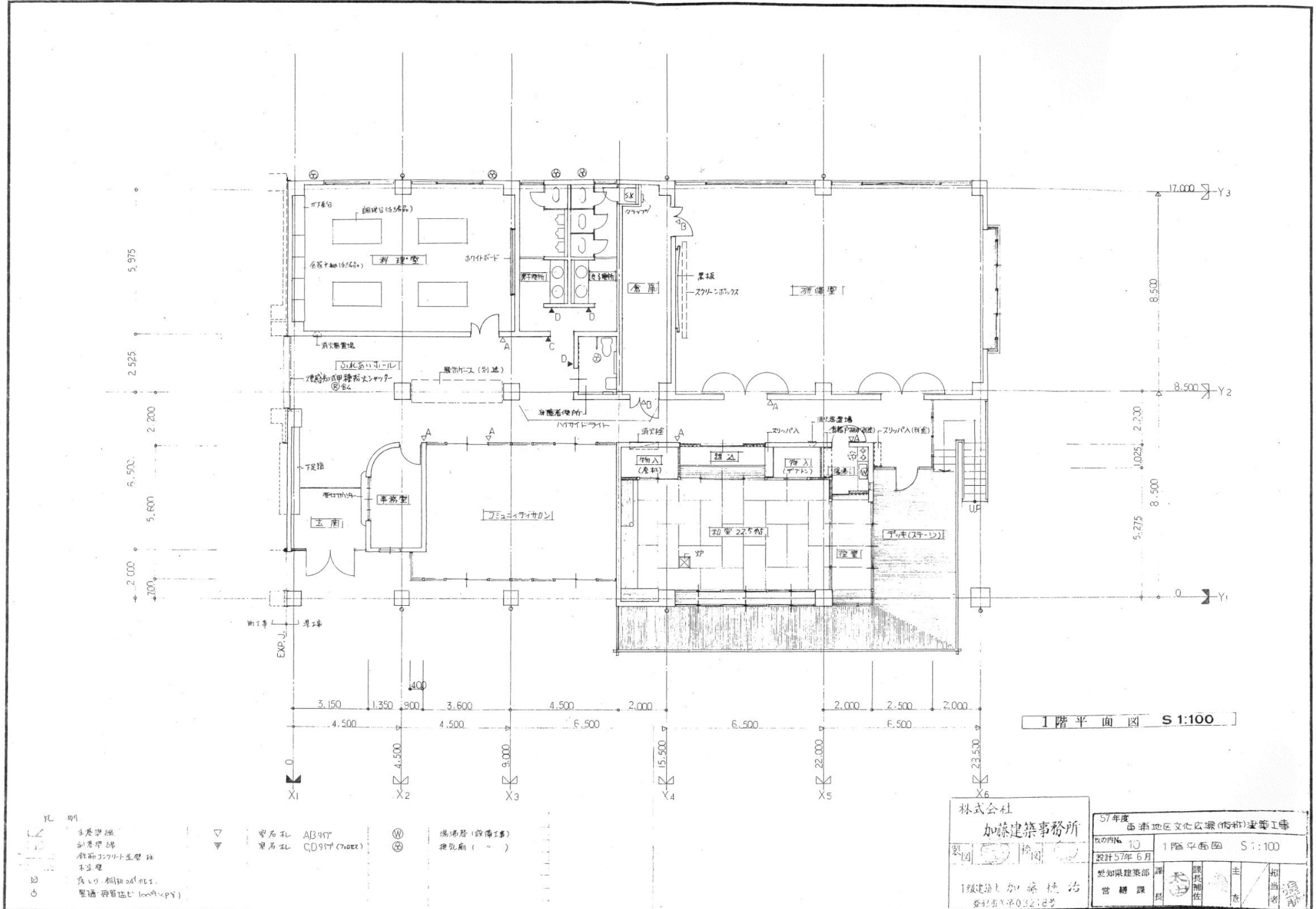
(体育館\_平面図)



三橋建築設計事務所 名古屋事務所 岩井 浩	建設士登録第3358号 岩井 浩	工事名称 東浦町体育館建設工事 図面名称 IF 運具キープラン 縮尺 1:200	図面番号 144
--------------------------	---------------------	--	----------

# 1. 東浦中学校・東浦文化広場における現状と課題

(はなのき会館 平面図)



# 1. 東浦中学校・東浦文化広場における現状と課題

## V. 施設の利用状況

東浦文化広場	稼働率 (%)	東浦中学校	稼働率 (%)
アリーナ	75.9	第1屋内運動場	69.6
柔剣道場	40.5	第2屋内運動場	35.1
小体育室	50.8	多目的室	29.6
テニスコート	34.9	テニスコート	8.6
調理室	11.8	家庭科室	6.2
研修室	31.4	-	
第1グラウンド	28.6	グラウンド	65.5
第2グラウンド	17.8		

※本表は、同種・類似用途の諸室を比較表として整理している。  
 ※東浦中学校・東浦文化広場基本構想（2025年7月策定）より抜粋

### 【令和6年度区域別年間利用者数】

種類	町内	広域内	広域外	総計	備考
第1グラウンド	63,743	94,311	6,043	164,103	全面、半面利用の総計
	38.8%	57.5%	3.7%	100%	
第2グラウンド	37,017	8,261	656	45,934	全面、半面利用の総計
	80.6%	18.0%	1.4%	100%	
テニスコート(平日)	26,350	8,567	1,293	36,213	全コートの総計
	72.8%	23.7%	3.6%	100%	
テニスコート(休日)	52,169	9,868	349	62,390	全コートの総計
	83.6%	15.8%	0.6%	100%	
テニスコート(Eコート)	69	67	2	138	15時以降
	50.0%	48.6%	1.4%	100%	
体育館アリーナ	76,051	38,401	10,911	125,399	全面、半面利用の総計
	60.6%	30.6%	8.7%	100%	
小体育館	38,934	7,287	1,547	47,776	
	81.5%	15.3%	3.2%	100%	
柔剣道場	26,966	4,337	1,539	32,898	
	82.0%	13.2%	4.7%	100%	
はなのき会館研修室	19,572	7,797	2,664	30,033	
	65.2%	26.0%	8.9%	100%	
はなのき会館料理室	8,342	556	1,246	10,144	
	82.2%	5.5%	12.3%	100%	
東浦中学校体育館	4,328	0	0	4,328	学校開放利用者
	100.0%	0.0%	0.0%	100%	
東浦中学校飛翔館	2,610	0	0	2,610	学校開放利用者
	100.0%	0.0%	0.0%	100%	

※広域内：東海市、大府市、知多市、半田市、阿久比町、刈谷市の住民利用者数、 広域外：東浦町と広域連携の市町村以外の利用者数

## VI. 町民体育館の現況評価

### ①修繕履歴の確認

- 過去の修繕、改修等の履歴を整理する。（記載は工事金額1,000万円前後を目安とする。）

年度	工事内容	工事金額 (円)
H18	体育館・はなのき会館 屋根改修	18,066,000
H19	はなのき会館 空調設備改修	9,975,000
R3	文化広場テニスコート 照明LED化改修24器	18,850,700
R4	体育館 既設男女トイレの乾式化に伴う建築、電気、機械設備工事	27,500,000

### ②現況確認による劣化状況

- 現地確認の結果、体育館については大きな劣化は見受けられなかった一方、はなのき会館については、全体として経年による劣化がやや目立つ状況であることを確認した。

#### 【体育館】

箇所	所見	判断
外壁	体育館 外壁クラック（補修済）	問題なし
屋根	特になし	問題なし
軒下	特になし	問題なし
内装	特になし	問題なし
設備	特になし	問題なし
外構	特になし	問題なし
定期検査	特になし（令和7年10月報告）	問題なし

#### 【はなのき会館】

箇所	所見	判断
外壁	特になし	問題なし
屋根	特になし	問題なし
軒下	はなのき会館 軒裏 雨漏れによる損傷（雨漏れは修復済）	要修繕
内装	はなのき会館 研修室 雨漏れによる損傷（雨漏れは修復済） はなのき会館 女子トイレ 壁面タイル剥離	要修繕
設備	特になし	問題なし
外構	特になし	問題なし
定期報告	特になし（令和7年10月報告）	問題なし

# 1. 東浦中学校・東浦文化広場における現状と課題

## VI. 町民体育館の現況評価（つづき）

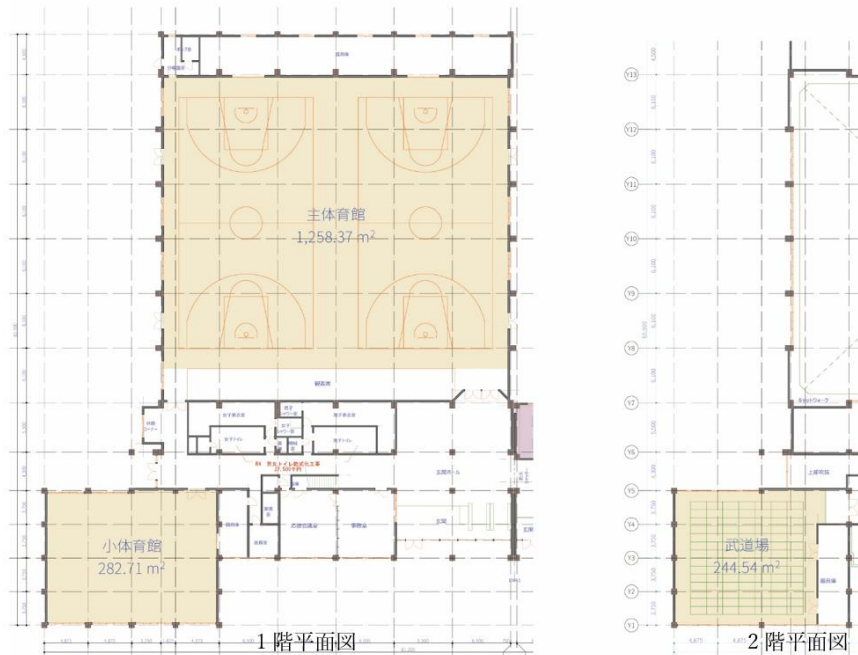
### ③現中学校体育施設との規模比較

- 東浦町体育館は、主体育館に加え、小体育館および武道場を備えており、体育活動に供される屋内運動空間の総量は約1,786㎡となっている。
- 一方、東浦中学校では、屋内運動場（約1,134㎡）および第二屋内運動場（約531㎡）を合わせて約1,665㎡であり、体育活動に必要な屋内運動空間の規模は、両施設で概ね同等と評価できる。

	東浦町体育館		東浦中学校	
体育施設延床面積	主体育館 (観客席除く)	約 1,258 ㎡	屋内運動場	約 1,134 ㎡
	小体育館	約 283 ㎡	第二屋内運動場	約 531 ㎡
	武道場	約 245 ㎡		
	計	約 1,786 ㎡	計	約 1,665 ㎡
その他スペース	舞台	-	舞台	奥行 8m×幅 21.6m
			部室 5室	172.8 ㎡
				18 ㎡×5=90 ㎡

### ④体育施設としての必要規模の確認

- バスケットコート2面を確保しており、主体育館に加えて小体育館および武道場を備えていることから、体育施設として必要な規模を満たしていると評価する。
- また、高さについては、水下側において図上計測の結果、約11.8mを確保している。これは競技利用における高さの目安であるバレーボールのエンドライン付近で求められる10.5m以上を満たしており、必要な空間規模を有していると評価する。



### ⑤避難所としての機能

名称	所在地	施設等の区分	標高(m)	①指定避難所	指定避難所の収容可能人数		②指定緊急避難所 対象とする異常な現象の種類					
					初期(2㎡)	長期(3㎡)	洪水・内水氾濫	がけ崩れ等	高潮	地震	津波	大規模火災
東浦中学校	石浜字障戸 19	体育館 飛翔館 運動場	4.4 2.7	○ —	890 —	590 —	○ —	○ —	○ —	— ○	○ ○	— ○
東浦町体育館	生路字狭間 80		16.8	○	1,070	710	○	○	○	—	○	—

出典：東浦町指定避難所、指定緊急避難場所及び福祉避難所（R7年4月1日時点）

### ⑥総合評価

- 体育館については、体育施設として必要な規模および機能を概ね備えており、引き続き体育施設として利用できる可能性があるとして評価できる。
- 一方、はなのき会館については、施設全体として老朽化が見受けられることから、現状のまま継続利用することに加え、建物の状態を踏まえた部分的な解体や再編を含めた対応についても、検討の余地があると考えられる。
- これらを踏まえ、現段階においては、既存体育館の活用可能性を一つの前提として整理しつつ、はなのき会館の取扱いについては、施設の劣化状況や今後の活用方針を踏まえ、複数の選択肢を比較しながら検討を進めていくことが求められる。

#### 【複合化に向けた課題】

複合利用を想定した場合、以下の点について今後整理・検討が必要である。

- 複合利用時における利用時間帯や管理区分の整理
- 学校利用、住民利用、災害時利用が重なる場合の動線及び運用方法の整理
- 学校特有諸室（舞台、部室、倉庫等）の確保および配置の整理
- 既存施設活用を前提とした老朽化対応および改修範囲の整理

## 2. 事例調査（参考となる事例の抜粋）

### I. 先進事例調査

●事例：かほく市立宇ノ気中学校、かほく市宇ノ気体育館	
所在地	石川県かほく市森レ1番地
施設構成（床面積）	中学校（8,283㎡） 市立体育館（4,488㎡）
構造・階数	校舎：RC造地上4階、体育館RC造（一部鉄骨造）3階
整備時期	平成19年
学校規模	14学級490名（特別支援学級／3学級9名）
事業概要	町には正式なバスケットボールコートを2面有する体育館がなく、また、総合型地域スポーツクラブの活動拠点（クラブハウス）がなかったことから、中学校の改築を機に社会体育施設との複合化を計画した。
事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設（校舎）工事費：20.4億円 → 公立学校施設整備費国庫補助金と安全・安心な学校づくり交付金を活用</li> <li>体育施設（体育館）工事費：約11.5億円 → 市単独事業として整備（合併特別債を充当） 合併特別債は、事業費の95%を充当、内70%が国の負担</li> </ul>
管理・運営の体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設の管理は学校と教育委員会</li> <li>社会体育施設の管理は指定管理者（総合型地域スポーツクラブ）</li> <li>学校開放を含め、施設の貸し館調整や入退出の管理は指定管理者（総合型地域スポーツクラブ）が行っている。</li> <li>光熱水費など維持管理費は、指定管理料に含まれている。</li> <li>主に中学校が利用する体育館アリーナ部分の光熱水費分は市が直接負担。</li> <li>体育館は学校活動を優先し、事業上9:00~19:00は予約不可。</li> </ul>
特徴	<p>《学校教育活動への効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合型地域スポーツクラブの外部人材が学校のゲストティーチャーとして参加、生徒は学校の授業で、ヨガやエアロビクスの体験が可能。</li> <li>スポーツクラブの外部人材が、部活動の外部指導者として指導可能。</li> </ul> <p>《市・地域への効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合型地域スポーツクラブ「クラブパレット」の拠点設置により活動が活性化した。</li> <li>指定管理者が設置したカフェがあり、更なる集客を図っている。</li> <li>市からの管理運営委託料は、総合型地域スポーツクラブの貴重な収益源。</li> <li>指定管理者が学校開放の管理をすることで、地域住民の利用が容易となった。</li> <li>体育館の整備を1つにできたことにより、市の財政上も効果があった。</li> </ul>
防犯対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒及び住民が混在する敷地へのアプローチは、地域の人と生徒との触れ合いによる防犯上の利点が多いと判断し整備。</li> <li>学校側の玄関は原則として施錠。</li> <li>職員室は玄関や生徒、市民の出入りを見渡せる位置に配置。</li> <li>体育館と学校施設の連結部には、施設管理のために格子状の扉を整備。</li> </ul>

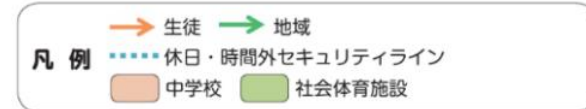
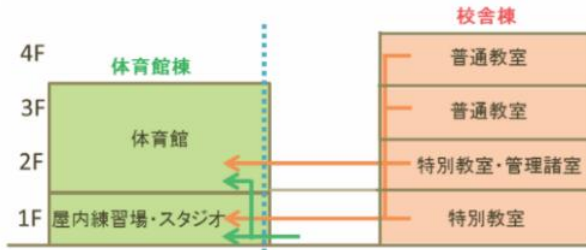


外観写真

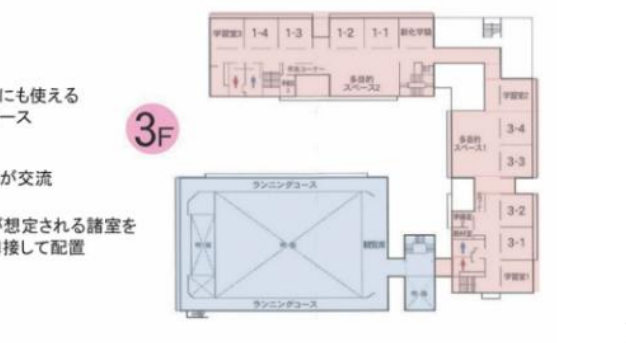
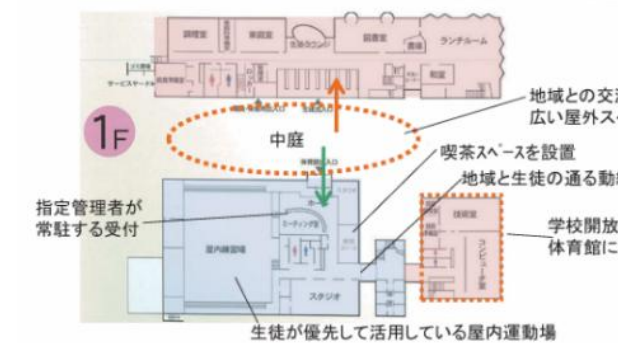
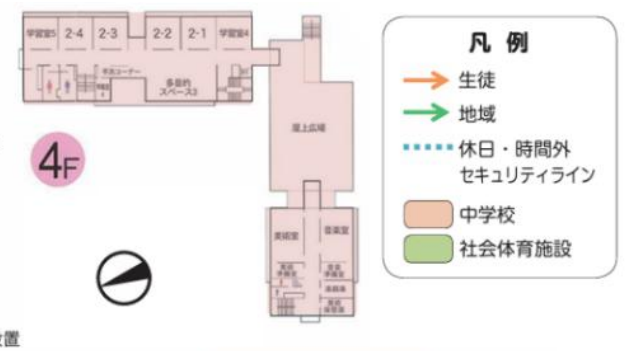
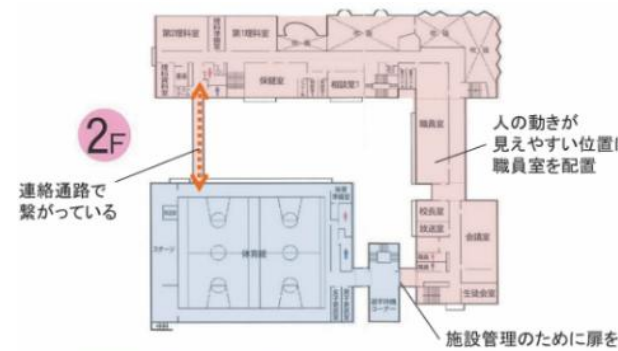
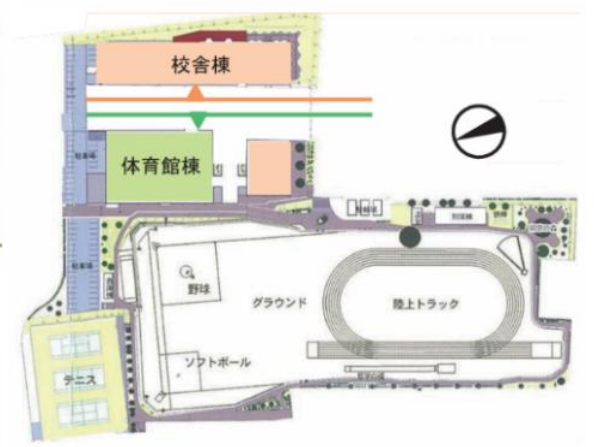


体育館内部

<立面図>



<配置図>



# 3. 町民意向の把握（速報値）

## II. 町民意識調査の報告

### ① アンケート実施概要

- 調査時期 令和8年2月17日（火）～3月6日（金）
- 調査対象・実施方法 以下のアンケート対象者にアンケートを実施した。

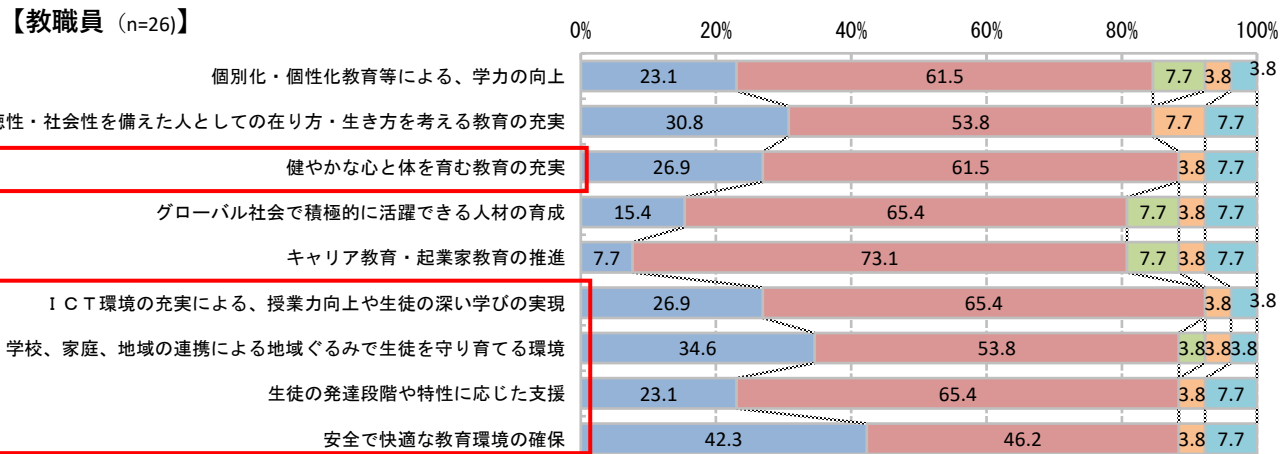
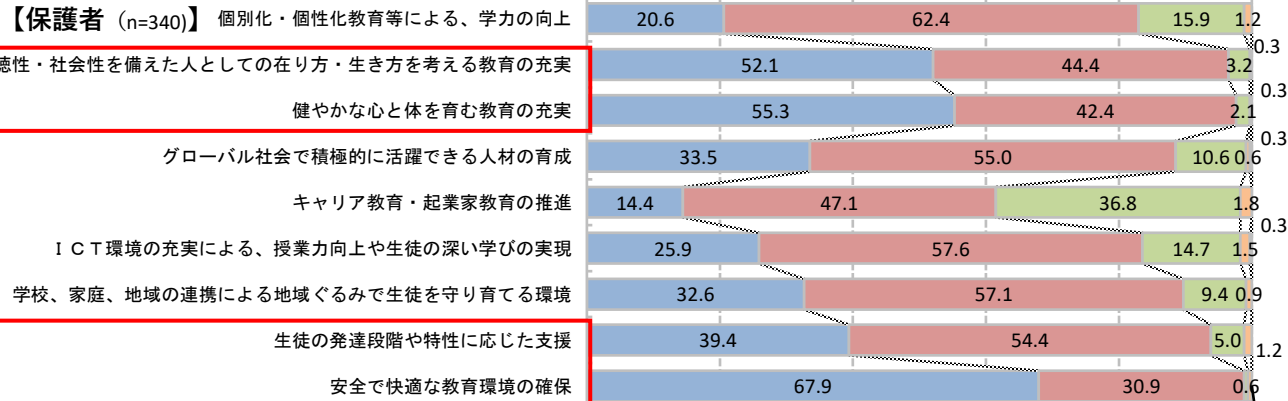
対象者		配布数	回収数	回収率	実施方法
保護者	保育園に通う園児の保護者（中学校区在住）	775	340	11.3%	調査票は保護者向けアプリで配信。WEBで回答。 アプリ未対応の一部の保育園には、紙面配布をし、WEBで回答。
	中学校区内小学生の保護者	2,223			
	東浦中学校生徒の保護者				
東浦中学校教職員		53	26	49.1%	WEB
利用者	団体利用者	70	23	32.9%	紙面配布をし、WEBで回答。
	一般（個人）利用者	—	44	—	施設に紙面を設置、WEBと紙面で回答

### ② アンケート結果

#### 【学校施設の今後のあり方について】

Q 今後の学校教育において重視すべきと思う項目は何ですか。

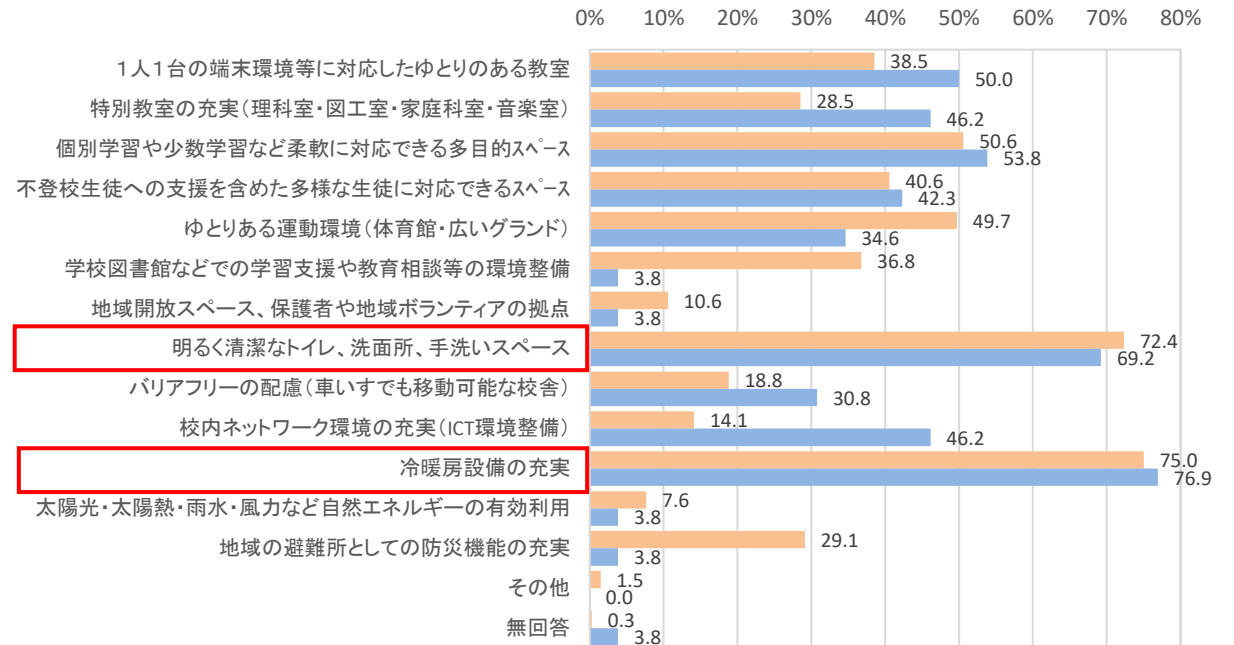
保 教



■ 最も重視すべき ■ 重視すべき ■ あまり重視しなくてよい ■ 重視しなくてよい ■ 無回答

Q 新しく整備する中学校を魅力的な学校とするために、生徒のためにあった方がよいと思う施設や機能はなんですか。

保 教



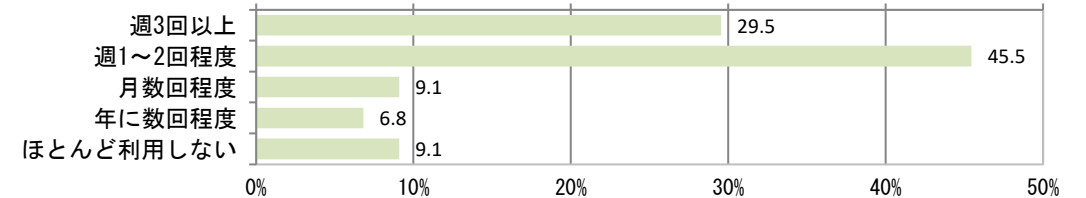
■ 保護者 (n=340) ■ 教職員 (n=26)

#### 【東浦文化広場の利用状況】

Q. 東浦文化広場をどの程度利用していますか。

個 団

【一般利用者（個人） (n=44)】



【利用団体 (n=23)】

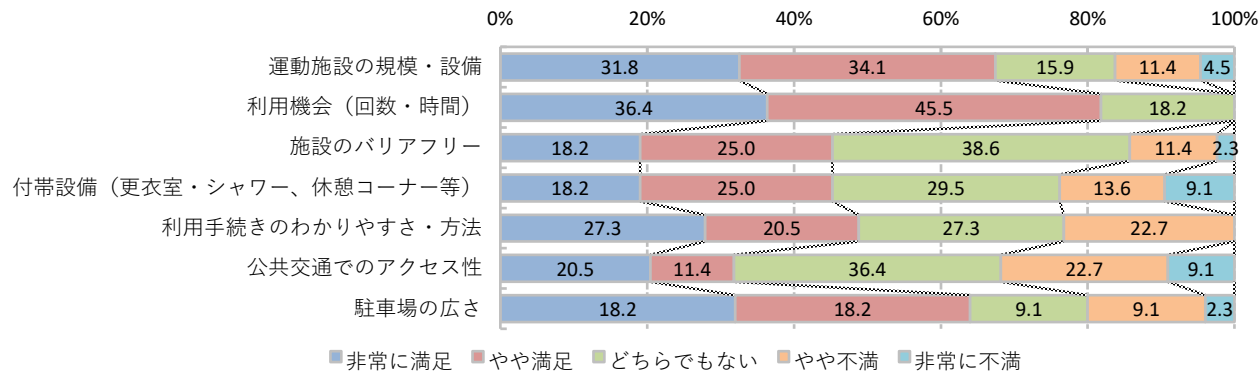
(単位：%)

施設名称	週3回以上	週1～2回程度	月数回程度	年に数回程度	ほとんど利用しない	無回答	
東浦文化広場	体育館アリーナ全面	0.0	4.3	4.3	8.7	39.1	43.5
	体育館アリーナ半面	0.0	4.3	0.0	4.3	39.1	52.2
	小体育館	0.0	13.0	4.3	8.7	34.8	39.1
	柔剣道場	0.0	4.3	0.0	0.0	47.8	47.8
	テニスコート	4.3	8.7	0.0	0.0	43.5	43.5
	メディアスひがしうら第1グラウンド	0.0	8.7	4.3	13.0	39.1	34.8
	メディアスひがしうら第2グラウンド	0.0	13.0	0.0	8.7	39.1	39.1
	研修室	0.0	0.0	8.7	8.7	43.5	39.1
	料理室	0.0	0.0	0.0	8.7	43.5	47.8
	東浦中学校施設開放	0.0	0.0	4.3	8.7	39.1	47.8
運動場	0.0	4.3	0.0	4.3	43.5	47.8	
飛翔館	0.0	4.3	0.0	4.3	43.5	47.8	

### 3. 町民意向の把握（速報値）

Q. 現在の東浦文化広場について、どの程度満足していますか。

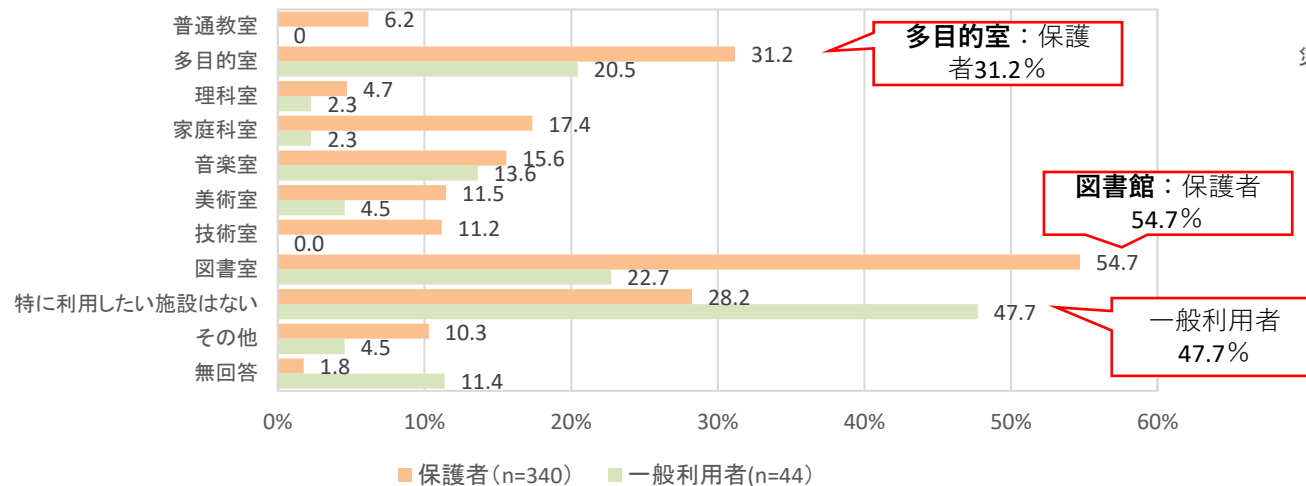
個



#### 【複合施設について】

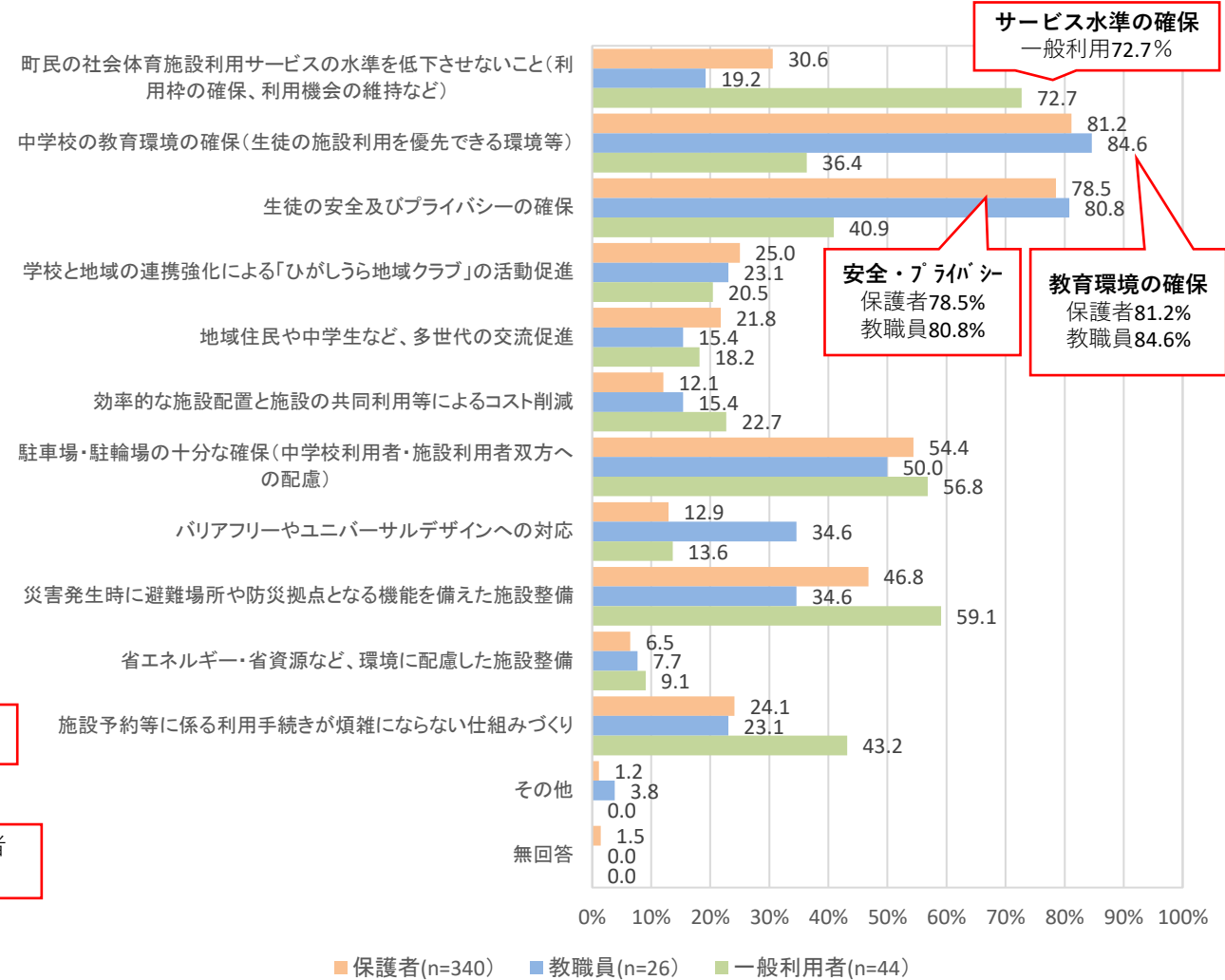
Q. 東浦中学校・東浦文化広場の複合化にあたり、教育上支障がない範囲で中学校施設の一部を開放する場合、どのような施設を利用したいですか。

保 個



Q. 東浦中学校・東浦文化広場の複合化にあたり、重要だと思うことは何ですか。

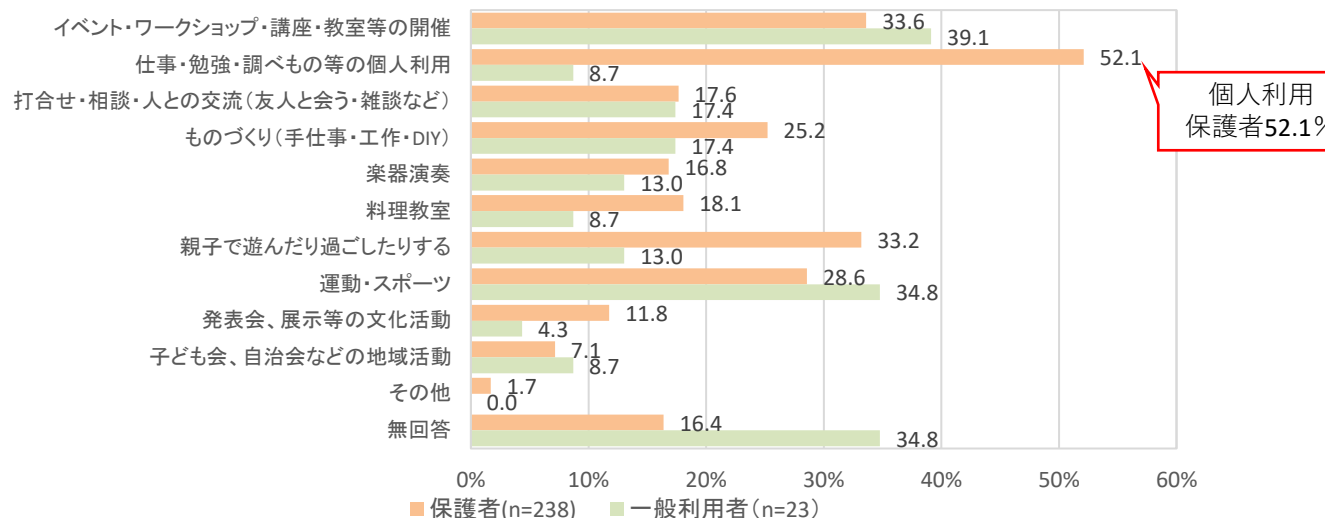
保 教 個



Q. そこでどのような活動をしたいですか。

(「特に利用したい施設はない」を選択した人は除く)

保 個



Q. 中学校施設の地域開放に対して、不安なことや期待することはありますか。【記述】

保 教

不安なこと	期待すること
<p>&lt;防犯対策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者侵入のリスク</li> <li>・防犯などの安全面、性被害、盗撮</li> <li>・備品管理、施錠や防犯</li> </ul> <p>&lt;交流&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生が気軽に入ることができなくなる</li> </ul> <p>&lt;スケジュール&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつできるのか。本当に建設されるのか。</li> </ul> <p>&lt;教育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域開放で、勉強に集中できるのか。</li> <li>・騒音問題、場所の問題</li> </ul> <p>&lt;施設利用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の体育館利用に影響がないか</li> </ul>	<p>&lt;交流&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながりで社会や地元のことを考えるきっかけになる。</li> <li>・住民との交流が深まる</li> <li>・閉鎖的にならず異世代との交流</li> </ul> <p>&lt;学び環境&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した環境で子供がのびのび学べる</li> <li>・習い事の充実、多種スポーツを体験できる環境</li> <li>・教室備品の充実</li> <li>・図書室の本の充実</li> </ul> <p>&lt;地域活性化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎化しない。地域で子育てしようという意欲が生まれる。</li> </ul>

## 4. 導入機能の整理

### I. 東浦中学校・東浦文化広場基本構想（2025年7月策定）

#### ①施設の基本的な考え方

##### 《学校機能と社会体育機能等の複合による地域拠点の形成》

- ・東浦中学校と東浦文化広場の複合は、複合化・集約化に伴う相乗効果による利便性・合理性向上やサービスの質の向上を見据えて実施します。
- ・コミュニティ拠点を形成し、時代のニーズや環境の変化等に合致する新たな価値を提供します。
- ・ハード整備によらず実施可能なソフト施策は積極的に実施します。
- ・ハコモノとしての公共施設にとらわれず、ニーズに合わないサービスや重複するサービスを見直し、ニーズ変化への対応性に配慮しつつ、施設を有効活用するための管理運営の仕組み・体制等の構築も含め、時代に即した公共サービスを効果的かつ効率的に提供します。

##### 《災害への対応能力の向上》

- ・公共施設の再配置または再整備により、水害等の災害への対応能力を向上します。
- ・水害に限らず、大規模災害や新型感染症対策等にも柔軟に対応可能な公共施設を確保します。
- ・施設単体、敷地内の災害対応能力だけでなく、周辺環境も含めた災害対応能力、ハードとソフトの両面での災害対応能力向上を図ります。

##### 《東浦町教育大綱の推進》

- ・東浦町教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、本町の教育、学術及び文化の振興に関する基本理念や基本目標と、それらを実現するための総合的な施策について定めたもので、本町では、個別化・個性化教育を推進し、また地域連携、地球温暖化対策、ICT環境の充実等に努める方針としています。

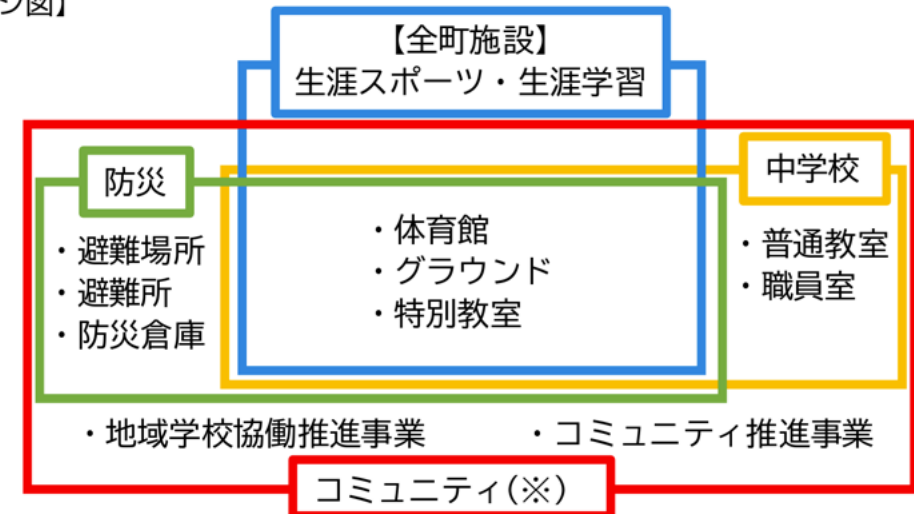
##### 《導入機能（案）》

- ・東浦中学校・東浦文化広場では、中学校機能及び生涯スポーツ機能を基本とします。
- ・東浦中学校（第一屋内運動場、第二屋内運動場）や東浦文化広場は指定避難所に指定されており、複合施設でも避難所として指定。また、防災倉庫機能も必要。
- ・中学校の特別教室は、できる限り地域住民との共有を図り、地域の拠点施設としても整備。

#### ⑤避難所としての機能

導入する機能	現状の施設に備えている部屋等
中学校機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通教室</li> <li>・特別教室（音楽室、家庭科室、理科室、図書室、多目的室、技術室等）</li> <li>・第1屋内運動場、第2屋内運動場、グラウンド、テニスコート等</li> <li>・職員室</li> </ul>
生涯スポーツ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリーナ、柔剣道場、小体育館</li> <li>・グラウンド、テニスコート</li> </ul>
生涯学習機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理室、研修室、和室</li> </ul>
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所、避難所、防災倉庫</li> </ul>

#### 【イメージ図】



※本構想におけるコミュニティとは東浦中学校区におけるコミュニティを基本とします。なお、東浦中学校・東浦文化広場の**体育館及びグラウンドは、町総合体育館及び町総合グラウンドの位置づけ**としています。

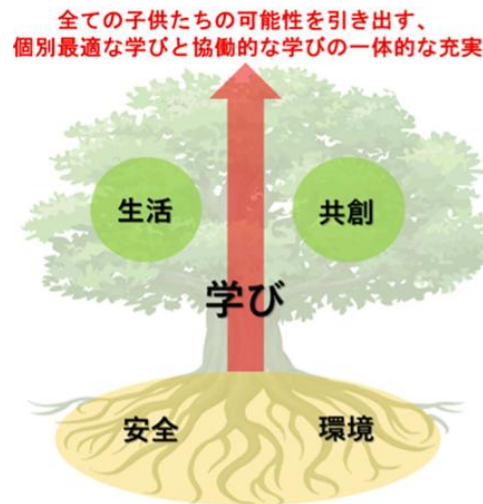
# 4. 導入機能の整理

## II. 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について（2022年3月：文部科学省）

- ・新しい時代の学びを実現する学校施設の姿（ビジョン）として『Schools for the Future 「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する』を掲げ、以下の5つの姿の方向性を示しています。

### ①新しい時代の学び舎として目指していく姿

- ・「未来思考」をもった上で、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿を示す。
- ・新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に『学び』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として『生活』『共創』の空間を実現する。
- ・また、新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として『安全』『環境』の確保を実現する。



### ②5つの姿の方向性

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

#### 《学び》個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現

- ⇒1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備
- ⇒個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備
- ⇒教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

#### 《生活》新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現

- ⇒居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）
- ⇒空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

#### 《共創》地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現

- ⇒地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
- ⇒地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等

#### 《安全》子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現

- ⇒老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
- ⇒避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化

#### 《環境》脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現

- ⇒屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進
- ⇒環境や地域との共生の観点から学校における木材利用(木造化、室内利用)を推進



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるように、創造的な空間に転換していく姿  
 学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・commons」としていく姿  
 教室と連続する空間も活用し、高機能のコンピュータ室を専門的で高度な学びを誘発する「デザインラボ」としていく姿



映像編集やオンライン会議のためスタジオ、情報交換や休憩ができるラウンジなど、円滑に業務を行える執務空間としていく姿  
 木材を活用し温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく姿  
 地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿



長く使い続けることができるように安全性を確保し、子供たちの学び・生活の場、地域のコミュニティの拠点としていく姿  
 省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿

## 4. 導入機能の整理

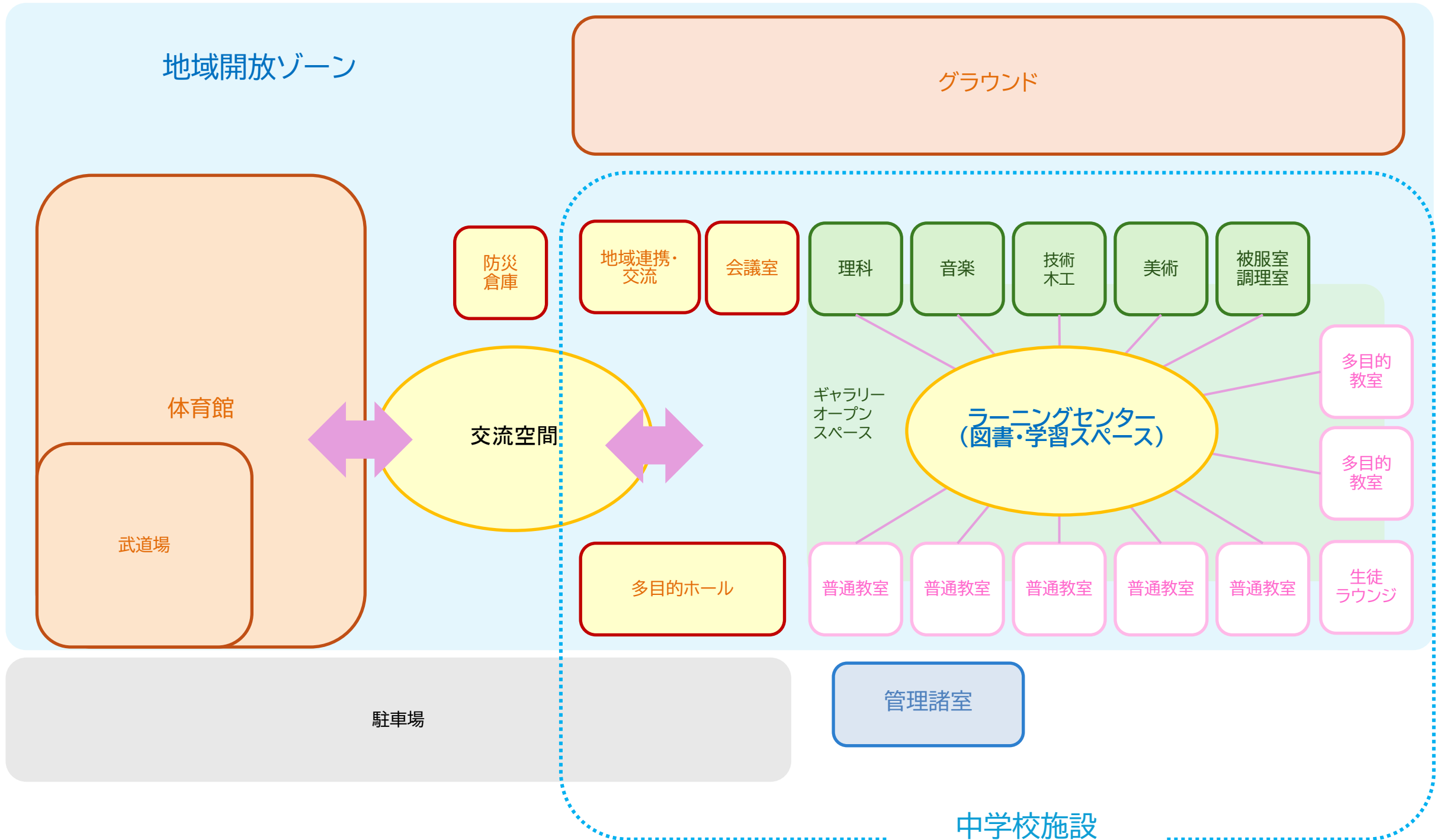
機能区分	導入機能	施設	検討の視点
中学校機能	普通教室	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の教室数を基本としながら、将来生徒数に伴う教室数、教室規模の設定</li> <li>生徒の安全・集中・日常性を最優先</li> <li>可動家具・ICT対応により、放課後の補習や地域学習利用も将来的な余地の検討</li> </ul>
中学校機能	少人数・多目的教室	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究学習、地域講師による学習、放課後教室などのフレキシブルな活用</li> </ul>
中学校機能	生徒ラウンジ・居場所空間	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の場（ウェルビーイング）としての視点で屋内外に分散配置</li> <li>将来的な地域連携の余地も検討</li> </ul>
中学校機能	職員室・管理諸室	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティ確保を前提に、共用部との明確なゾーニングを検討</li> <li>先生の働き方にも配慮した諸室の検討</li> </ul>
中学校機能＋生涯学習機能	特別教室（理科・音楽・美術等）	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後部活動や地域文化活動の連続利用を想定した管理</li> </ul>
中学校機能＋生涯学習機能	図書・学習スペース	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書＋地域の生涯学習拠点のハイブリッド型を検討</li> </ul>
中学校機能＋生涯学習機能	多目的ホール	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表・展示・講演・地域行事など「学校×文化」の接点となる中核空間</li> </ul>
生涯学習機能	会議室・研修室	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA・地域団体・防災会議等、学校と地域をつなぐ中間領域</li> </ul>
防災機能	避難場所、避難所、防災倉庫	既存活用一部新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館および屋外運動場の避難所としての継続指定</li> <li>避難時利用と中学校の継続利用に配慮した防災設計（管理区分、非常電源等）</li> </ul>
生涯スポーツ機能	アリーナ体育館	既存改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>現施設の改修等による継続利用を検討</li> <li>平日昼間の中学校利用と夜間・休日等における生涯スポーツとの共用</li> </ul>
生涯スポーツ機能	武道場・小体育館	既存改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>現施設の改修等による継続利用を検討</li> <li>健康づくり・介護予防・世代間交流プログラムへの展開</li> </ul>
生涯スポーツ機能	屋外運動場（グラウンド①②）	既存改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>現施設の継続利用</li> <li>防災時の一時避難・活動拠点として求められる機能等の拡充</li> </ul>
生涯スポーツ機能	テニスコート	既存改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校施設の配置に伴う敷地内移設を検討</li> <li>健康づくり・介護予防・世代間交流プログラムへの展開</li> </ul>
生涯スポーツ機能	エントランス・休憩スペース	既存改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>にぎわい・交流を生む「まちの縁側」空間</li> <li>滞在性を高め、世代間交流・見守り機能を担う</li> </ul>
交流機能	広場・オープンスペース	既存改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント・交流・防災拠点として多目的活用</li> </ul>

### ※はなのき会館機能の再編の考え方

現施設の主機能	現施設での役割	新施設での再配置先	新たな位置づけ・再編の考え方
調理室	料理教室・地域講座	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の家庭科・探究学習と地域の交流講座を兼ねた特別教室(家庭科室)して再編</li> </ul>
研修室	会議・学習会	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA、地域団体、防災会議、講座利用を想定した可変型研修・会議室として再編</li> </ul>
和室	文化活動・集会	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>茶道・華道・伝統文化、世代間交流、学校開放対応の多用途な和空間として再編</li> </ul>
ふれあい教室	いじめ不登校対策事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在地から移転等を検討</li> </ul>
ロビー・交流空間	滞在・待合	既存改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書・学習・ホールと連続する「まちの縁側」として機能統合</li> </ul>

# 4. 導入機能の整理

## IV. 機能構成図 (案)



※本図は機能構成のイメージであり、平面図ではありません。  
平面計画等は今後の基本設計段階において検討します。